

講義コード	11C0128704	授業形態	演習	事前登録の有無	なし	担当教員	苑 志佳	開講期	通年
科目名	ゼミナールⅠ(苑)					苑 志佳		通年	
履修前提条件						備考			
授業の目的	2017年度は中国の「日中経済」をテーマとする。世界第2位の経済規模になった中国は、世界政治にも大きな発言力を持つようになりつつある。今後、世界の政治・経済の舞台における中国のパフォーマンスはどのようになるか。また、中国社会は今後、どのような方向に進化していくか。これらの諸点はゼミⅠの研究テーマである。苑ゼミは、学生主導の方針で運営していく。ゼミ授業では、教員と学生が全員平等の形で独自の主張・意見を遠慮なく述べることを期待される。								
到達目標	本ゼミを通じ学生は、中国に関する総合知識を身につけることができる。様々な専門書を輪読することによって中国の政治・社会・歴史をより深く理解することができる。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	①この科目では、120時間以上の授業外学修を行うこと。 ②毎週の授業終了後に参考文献や予習資料などを指定するので、これを予習する。 ③授業時に配布される教材や資料を復習し、次回の授業時に問題提起を考える。 ④4授業の予定テーマに関連する資料を自ら収集し、これを持って授業討論に臨む。								
授業計画	【第1回】 前期イントロダクション 【第2回】 どのように GDP 世界第2位に到達したのか？ 【第3回】 社会主義市場経済とは何か？ 【第4回】 メイド・イン・チャイナは世界市場を席巻するか？ 【第5回】 国有企業改革はどこまで進んだか？ 【第6回】 農村はいかに変化したか？ 【第7回】 労働力は本当に不足しているか？ 【第8回】 中国は世界最大の資本輸出国でありつつけるか？ 【第9回】 外需依存型成長からの転換は可能か？ 【第10回】 外資は何をもたらした？ 【第11回】 米中両国の経済依存関係は災か福か？ 【第12回】 日中関係はいかにあるべきか？ 【第13回】 持続的経済成長は可能か？ 【第14回】 成長の果実は誰の手に？ 【第15回】 総括 【第16回】 後期イントロダクション 【第17回】 「中所得国の罅」という壁 【第18回】 アメリカという壁 【第19回】 南シナ海という壁 【第20回】 AIIB という壁 【第21回】 人民元という壁 【第22回】 北朝鮮という壁 【第23回】 台湾という壁 【第24回】 日中関係という壁 【第25回】 戦前の労使対立とナショナリズム 【第26回】 統一に向かう中国を日本はどう理解したか 【第27回】 日中開戦と総力戦の果てに 【第28回】 毛沢東時代の揺れ動く日中関係 【第29回】 日中蜜月の時代とその陰り 【第30回】 日中経済の「不確実性」をめぐって								
成績評価の方法	1. 平常点50% 2. プレゼン30% 3. 討論参加20%								
フィードバックの内容									
教科書	『中国経済入門』南亮進・牧野文夫（日本評論社）2012年、『中国の越えがたい「9つの壁」』沈才彬（角川新書）2016年、『日本と中国経済：相互交流と衝突の100年』梶谷懐（ちくま新書）2016年								
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ	ゼミでの活発な議論と価値のあるコメントが期待されているので、ゼミ生諸君は、遠慮なく目立ちください。また、数回のコンパーも企画中で、授業以外の場でも気軽に議論しましょう。								
オフィスアワー	月曜日3限								
その他									